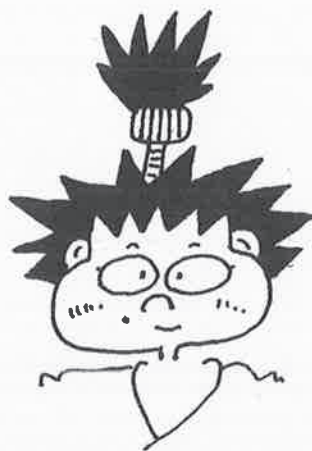


84 とーあちねー
唐商いよか糠商い

『知らん唐商いよか、知つちようる糠商いまし』。昔、琉球王時代にね、琉球から牛とか馬とか積んで、唐の時代に行つて。行つた場合には、琉球は貧乏なところだから、たくさん船にいっぱいむこうから貢ぎ物を持たせていただいてよ。

ただ、その行つた船がまともに帰つてくればいいが、帰らないのが多かつたらしいよ、暴風なんか遭つたりなんかしてね。帰らないものも。だから、糠というのは、稲を製粉する時に糠が出るでしょう、米糠。あれを例えている。知らん唐商いというのはね、あそこ行つたらたくさん、琉球持つてきたら儲かるけれども、あれでは帰つてくる船が少ないから、

あれでは、知つておるこの糠商いのほうが儲けはいということですよ。『知らん唐商いよか、知つちようる糠商いまし』というのは、結局。



字潮平 百次仁助